第 10 回つくし郷土かるた大会　大会運営概要

◆予選リーグ

〇試合で読む札の枚数は32枚となります。

〇全参加チームを4チームもしくは3チームのグループに分けてリーグ戦を行います。

〇4チームのグループは1回総当たり戦、3チームのグループは2回総当たり戦とし、1グループ6試合で順位を決めます。

〇リーグ戦で不戦勝となった場合は、20 対 0 で不戦勝側の勝ちとなります。

〇試合に勝ったチームには勝点2、引き分けは両チームに勝点1が与えられます。負けた場合の勝点は0です。

〇各グループ内の順位は以下の基準で決定します。

1）勝点（勝ち2、引き分け1、負け0）の多いチームが上位。

2）1で順位が決まらない場合、取った札数の多いチームが上位。

3）1、2で順位が決まらない場合、勝ち数の多いチームが上位。

4）1、2、3で順位が決まらない場合、直接対決の結果のみを抜き出して、1、2、3の基準で判断。

5）1、2、3、4で順位が決まらない場合、同位とします。

〇各グループ内の順位をもとに、予選リーグの全体順位を決め、上位32チームが決勝トーナメントに進みます。

全体順位の決め方

1）予選リーグ各グループ内の1位チームの中で「勝点」の多いチームが上位となります。勝点が同点の場合は「札数」の多いチームが上位となります。予選リーグ各グループの1位チームの順位付けの後、同様の基準で予選リーグ各グループの2位チームの順位付けを行います。予選リーグ各グループの2位チームが予選リーグ各グループの1位チームより上位になることはありません。

2）予選リーグ各グループの2位以上のチームで上位32チームが決まらない場合、予選各グループの 3 位と 4 位のチームを同列に並べ（各グループの構成チーム数が違うため）、同様の基準で順位を決めます。

3）「勝点」と「札数」で優劣を付ける事ができない場合、該当チームが試合をしたグループの1位チームの全体順位が高い方を上位とします。1位チームで優劣を付ける事ができない場合は2位チームの順位を用います。

4）上記の基準で順位付けができない場合、運営者の判断で決勝トーナメント進出チームを決定します。

※グループによって1チームあたりの試合数が異なるため、勝点と札数には補正をかけます。4チームのグループは3試合、3チームのグループは4試合行っているため、勝点及び札数に、前者は4、後者は3を乗じた数値を用いて順位付けを行います。

◆決勝トーナメント

〇試合で読む札の枚数は、1～3回戦は37枚、準決勝・3位決定戦・決勝戦は43枚となります。

〇予選リーグの全体順位上位32チームで、優勝チームを決めるためのトーナメント戦を行います。

※決勝トーナメントでは、予選リーグの結果が良いチーム同士がいきなり対戦しないようにしています。

〇試合で同点になったときは、最初の札を取ったチームが勝ちとなります。

◆チャレンジトーナメント

〇決勝トーナメント1回戦及び2回戦で負けたチーム（ベスト8に漏れたチーム）で、敢闘賞を決めるためのトーナメント戦を行います。

〇決勝トーナメント1回戦で負けたチームはチャレンジトーナメント1回戦から、決勝トーナメント2回戦で負けたチームはチャレンジトーナメント2回戦から、トーナメントに参加します。

〇試合で読む札の枚数は、1～3回戦は37枚、準決勝・決勝戦は43枚となります。

〇試合で同点になったときは、最初の札を取ったチームが勝ちとなります。

◆その他

〇参加チーム数が少ない場合は、決勝トーナメント進出チーム数やチャレンジトーナメントの内容が変わる事があります。

〇欠員があった場合、申込者以外が代役として出場することはできませんが、チームは、そのまま少ない人数で試合に出場することができます。

〇当日受付までにキャンセルがあった場合は、以下のように対応します。

・キャンセルにより、該当するグループが3チームになる場合

→そのまま3チームのグループとして、2回総当たり戦を行います。

・キャンセルにより、該当するグループが2チームになる場合

→4チーム揃っている他のグループから1チーム移動させ、3チームになるように調整し、2回総当たり戦を行います。ただし、キャンセルにより1チームになったグループがある場合は、そのグループから優先してチームを移動します。

・キャンセルにより、該当するグループが1チームになる場合

→該当するグループを解体し、他のグループに移動させます。

・キャンセルが多数ある場合は、状況に応じて運営責任者が判断します。